

# 財政力指数

令和元年度 0.771 ……(3カ年平均値)

令和元年度は、前年度と比較すると基準財政収入額、基準財政需要額ともに増加しています。基準財政収入額は市民税、固定資産税等が増額したこと、基準財政需要額は幼児保育の無償化に係る経費が措置されたことにより社会福祉費が増加したことが主な要因です。

収入額の伸びが需要の伸びを下回ったことにより、単年度指数は下降しましたが、3カ年平均指数は前年度と変わりありませんでした。

$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$
--

※ 当該団体の財政力を示す指標で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3カ年の平均値を用いて示します。指数が1.000に近い、また1.000を超えるほど、財源に余裕があることを表しています。

(参考)

- ・ 基準財政収入額… 普通交付税の算定に用いるもので、標準的な状態で徴収が見込まれる税収入などを一定の方法で算定した額を示しています。
- ・ 基準財政需要額… 普通交付税の算定に用いるもので、標準的な行政を合理的水準で実施したときに必要と想定される「一般財源の額」を示しています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
基準財政収入額 (千円)	42,060,505	43,186,249	42,880,347	43,856,518	44,153,909
基準財政需要額 (千円)	55,337,105	56,150,948	56,049,908	56,273,034	57,478,270
財政力指数(単年度)	0.760	0.769	0.765	0.779	0.768
財政力指数(3カ年平均)	0.750	0.758	0.765	0.771	0.771

